

## 全国高校サッカー県大会

# 先制野辺西防戦一方に

振られた。前半13分、野辺センターのパスをほさんでもやの先制を許した。追撃がボレーで流し込みみす地西がセンター攻撃かクロスを上げるトリック展開となった同15分、ぐに同点とし、MF宇野らCKを得ると、グラウンダーに虚を突かれ、よCKのこぼれ球をMF田を起点にピンチを広く使

第100回全国高校サッカー選手権大会は7日、青森市のカクヒログループアスレックススタジアムで決勝を行い、青森山田が5-1で野辺地西に圧勝して25年連続27回目の優勝を飾り、12月28日開幕の全国大会出場を決めた。

試合は5年連続同カード。青森山田は前半13分、野辺地西にセットプレーからMF工藤のゴールで先制されたものの、2分後にMF田澤の同点弾で反撃。同28分にはロングスローからFW名須川のヘディングで逆転した。後半は一方的に押し込み、MF松木、田澤、DF三輪が点ずつ追加した。全国大会の組み合わせ抽選会は11月15日に行われる。（成田亮 千葉康之）

後半は危なげない試合運びで3点を追加した。野辺地西は、組織的な守備からロングボールを多用して活路を見いだそうとしたが、青森山田のプレスに苦戦してラインが下がり、後半はシューティングが止まり、MF工藤のトゼロ。全国トップレベルの球の強度を誇る青森山田の地方に屈した。

後手になってしまっが、またも青森山田の引き継ぎ、今度こそ倒せたと肩を落とした。5年連続で決勝に進出した。同監督は「悔しさを挑戦を続ける姿勢を強調した。1、2年生にしっかりと」

が相手GKの好セーブが阻まれ、ネットは揺らせず。以降も、何度も相手ゴールに迫ったものの、最後の精度を欠き追加点を奪えなかった。次節は14日、静岡原藤枝市の藤枝総合運動公園サッカー場で藤枝MYFCと対戦する。（工藤優子）



## 野辺西失速 好機生めず

青森山田のお株を奪うセットプレーで先制点を挙げ、GK佐々木は好セーブを連続。試合序盤は迫り通りの試合展開で「一番狂わせ」をもう感させた野辺地西だったが、前半15分に同点とされて以降、相手の洗練されたパス回しに翻弄（ほんろ）され防戦一方に。攻撃の糸口もつかめず、後

【青森山田 野辺地西】  
 前半13分、MF工藤の先制ゴールに盛り上がる野辺地西イレブン

半はゴール前の好機をほとんどつくれなかった。「5バックで無失点を狙ったが、結果として1-1というスコアで悔しい。技術だけでなく、ボールを持つていない時の動きの質でついていけないかった」と手持のMF木村。三上監督も「狙い通り先制点を取れたが、破壊力のある攻撃に対し